

DentalSCOPE を用いた歯槽骨・顎骨における骨密度の定量評価に関する研究

1. 研究の対象

当院で辺縁性歯周炎、根尖性歯周炎、顎骨骨髓炎と診断された、またはその存在が疑われる方、インプラント治療を受ける方、抜歯を含む外科的手術後に歯槽骨および顎骨の欠損がある方

2. 研究目的・方法

目的：DentalSCOPE インジケータを用いた口内法エックス線検査を経時的に行い、歯槽骨および顎骨に生じる骨密度の変化を定量的に画像評価することを目的としています。
方法：口内法エックス線検査を経時的に行う必要がある上記対象疾患を持つ患者さんに対して、撮影時に DentalSCOPE インジケータを用いた口内法エックス線検査を行います。放射線被ばく量は従来の口内法エックス線検査と全く同じで、余分に被ばくすることも一切ありません。

DentalSCOPE インジケータを用いて撮影したエックス線画像を解析用の専用ソフトウェアに取り込み、画像上で歯槽骨および顎骨に関心領域を設定し、関心領域の骨密度を算出することで、骨密度の経時的変化と特定の歯科疾患との関連を明らかにします。

研究期間：研究機関の長の許可日 ～2027/5/31

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患名、歯式、症状、病歴 等

試料：デンタルエックス線画像

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府吹田市山田丘 1-8

TEL 06-6879-2967 大阪大学大学院歯学研究科歯科放射線学教室

研究責任者:大阪大学歯学部附属病院放射線科 島本博彰